

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	土地改良事業		所管課 【2】	農地整備課
			評価者(担当者)	宇野 貴善
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり		
	主要施策(節)	(1)農林業の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(3)農業基盤整備の推進		
<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 土地改良法、玉名市土地改良事業補助金交付要綱 】			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 6 項 1 目 14 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市の多くは菊池川流域の平坦地で形成され、農業用水路の多くは土水路のままである。そのため、大雨時などには農用地の一部が湿田化し、機械作業・施設園芸の湛水等にも多大な労力を要することになり、営農活動に支障を来しているため、改善する事を市に求められている。
対象(誰、何に対して) 【9】	農家
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	土地改良施設を改善することにより湛水被害等を防ぎ、農作業の効率化や低コスト化を図り、生産性の高い農地を創出する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	①負担金を支出して、排水路、農道の維持管理を行う。 ②市土地改良区加入地区以外の排水路等の維持管理を行う。 ③排水路、農道の大規模改良工事を行う。 ④玉名平野地区湛水防除促進期成会に負担金を支出し、排水機、樋門、排水路等の新設、改修、更新を行う。 ⑤市土地改良区域内の排水路等の維持管理費用の補助を行う。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 土地改良施設維持管理負担金事業 ② 土地改良事業(機械借り上げ、原材料費) ③ 土地改良事業(工事費) ④ 湛水防除負担金事業 ⑤ 玉名市土地改良区補助金事業

《事務事業実施に係るコスト》

			H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	201,696	209,388	208,856	240,146	
	【16】 小計	201,696	209,388	208,856	240,146	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
職人 員 の 費	職員人工数	0.80	0.90	1.35	1.35		
	職員の年間平均給与額(千円)	5,424	5,761	5,761	5,761		
	【17】 小計	4,339	5,185	7,777	7,777		
合計		206,035	214,573	216,633	247,923		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 土地改良施設維持管理負担金事業	負担金を支出して排水路、農道の維持管理を行う。	維持管理箇所数	箇所	19	19	19	19
② 土地改良事業(機械借り上げ、原材料費)	市土地改良区の管理範囲以外の農業用施設の維持管理を実施する。	維持管理箇所数	箇所	20	17	50	30
③ 土地改良事業(工事費)	農業基盤の強化ため排水路、農道の大規模改良工事を行う。	改良延長	m	1,600	1,000	2,090	1,000
④ 湛水防除負担金事業	湛水防除期成会へ排水機、樋門、排水路等の新設、改修、更新のため負担金を支出する。	新設、改修、更新施設数	施設	32	32	32	33
⑤ 玉名市土地改良区補助金事業	市から市土地改良区の運営費を補助する。	維持管理箇所数	箇所	86	100	100	100

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	
1 排水路等整備率	累計延長/全体計画延長×100	%	100	100	100	100
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	湛水被害が継続し市民の生命、財産が脅かされる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	農業の生産基盤施設である水路や農道などの整備については、一定の成果が出ているため、地元の維持管理を高めるうえで現状のまま継続する。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	排水機場については老朽化が進んでおり深刻な状況にある。また、補助事業の対象とならない農道、排水路等の土地改良事業については当該事業で対応しているものの、地元要望に対応しきれていない状況にあり、予算の増額による事業の促進が必要と考える。	評価責任者 早上 正臣
------------------	---	----------------